

一般社団法人久慈青年会議所

専務理事基本方針・事業計画

総務・事務局グループ 専務理事 大畑 義幸

1967年の創立から築き上げてきた久慈JCの組織としての礎は、変遷する時代と人の流れに磨かれ今日の50周年という金字塔を打ち立てる基となっており、その礎は人と人との繋がりを大切にし、地域の未来創造に尽力した熱き先達の想いに他なりません。その想いをこれからの世代に継承し続けるために、我々は新たな50年の歴史を作る出発地点に立ったと捉え、さらなる組織の強化と魅力溢れるJC運動を展開することが必要です。

まずは、幸先よい新たな50年の歴史のスタートを切るために、当グループ内でのメンバー同士の連携を強固にし、年間を通じて諸会議の円滑な設営と運営に努めます。そして、コンプライアンス遵守は素より効率的で合理的な組織運営を行うために、前例にとらわれず積極的変化を起こし、時代に即したガバナンスを構築します。さらに、定例会や種々の活動、メンバー個々の顔といった情報が組織全体に行き渡り、全員がLOM内の活動を把握できるようにするために、内部広報誌を配信して組織内での情報共有を図り、メンバー同士の繋がりの強化と連携活性化を促します。また、本年開催される創立50周年記念関連企画の運営を円滑化させるために、実行委員会内における総務に関する作業を担い、実行委員会と久慈JC組織全体の情報共有の効率化を図ります。そして、本年の一連の事業と活動を地域住民と県内各地会員会議所はもとより全国の人々に向けて情報発信するために、久慈JCの運動のみならず併せて久慈地域の人・風土・文化の魅力もホームページの運営と各種メディアを利用して発信し、地域の活性化をソフト面でバックアップします。

メンバー一人ひとりが久慈地域の牽引役として魅力溢れるJC運動を展開し、その運動の軌跡を目に見える形で表し情報発信していくことで、地域と我々がその成果とまちづくりの未来図を共有し、市民一人ひとりが夢と明るい展望を描ける地域の創造へと繋がります。

<事業計画>

1. 情報の受発信及び情報共有による効果的な組織運営
2. 諸会議・式典等の設営・運営の補助並びに庶務